

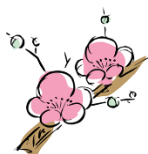
わかば

令和3年2月15日 No. 11

日野市立教育センター

『わかば教室』Tel 042-592-0863

Fax 042-592-1148



梅一輪一輪ほどの暖かさ

服部嵐雪(はっとりらんせつ)

立春の2月3日頃から、少しずつ春の気配を感じ始めました。教育センター前、工事中団地前の梅も桃色に咲き始めました。私たちの生活にも良い訪れがありますようにと願うばかりです。

☆ 卒業・進級を祝う会(3月5日)の準備が始まりました。

「わかば教室」に通室している自分自身をふり返り作文を書いています。中学生の作文を紹介します。

「わかばに来てから」

私が初めてわかばに来たのは、中学2年生の秋からです。わかばに来る前やわかばに慣れていない頃は、学校があまり好きではなく行きたいと思えませんでした。それでもわかばに行くと、先生たちが優しく話しかけてくれたり、面白い事を一緒に話していると教室が楽しいと思えるようになりました。そしてわかばで友達ができて、授業内のミニゲームや休み時間に一緒に体育館に行って体を動かしたり、教室が終わった後の帰り道でいろいろな話をしたり、人とのコミュニケーションが増えました。

私が頑張ってよかったと思うことは、毎朝早く起きてわかばに行くことです。最初は大変だったけれど、今はわかばが楽しみになりました。私がこれから頑張りたいことは勉強です。その中でも英語を頑張りたいです。

【いろいろな学びの場面から】

埋蔵文化財センターオンライン社会科見学

「東京都埋蔵文化財センター」(多摩センター駅徒歩7分)との連携授業(社会科見学)を1月29日(金)オンラインで実施しました。発掘された遺跡や復元された住居や道具をオンラインで見学し、説明をしていただきました。先人の知恵と工夫を感じ、多摩丘陵の歴史を学ぶ時間になりました。児童・生徒の感想を紹介します。



【 生徒の感想 】

- ・縄文時代の人達が土器を作ろうと思ったのがすごいと思ったし、それが残っていることに驚いた。縄文時代の言葉も気になった。(中2生徒)
- ・縄文時代の人、初めて知って学んだことを暮らしや生活にいかしていたことを知りました。縄文の人の知恵があったから、今の私達のあたりまえのような生活があるんだなと思いました。(中3生徒)

わかばタイム(スポーツ)の授業より

今月はスポーツの授業で「フリスビー」を楽しんでいます。キャッチの練習・パスの練習をした後、的(コーン)当てにチャレンジしています。子供達に感想を聞くと「最初は腕や手首の動かし方が難しかった。」「繰り返して練習すると上手くいって楽しい。」「キャッチするよりも投げるほうが難しい」などの声が聞かれました。小学生も上手に投げていました。



2月～3月の行事予定

- ※ 2月16日(火) 後期お誕生日会
- ※ 3月 5日(金) 卒業・進級を祝う会
- ※ 3月16日(火) お楽しみ会



カウンセラーより

～相手を知る～ ①

子供たちの興味関心のあることに触れてみる。これは簡単なようで難しいことだと思います。私も「わかば教室」に来るまで、子供たちの中で流行っているアニメやゲームのことはほとんど知りませんでした。子供たちの話を聞くうちに「どんなアニメなんだろう」「見てみたい」と感じるようになり、実際に見てみるとどんどん夢中になっていきました。その中で子供たちが、「どうして興味をもったのか」というきっかけや背景を知ることができ、子供たちにとってアニメやゲームというものが大きな存在になっていることに気付きました。大人も少しだけ子供たちと同じ時間を共有することで、普段のコミュニケーションにも変化が出るかもしれません。アニメやゲームに限らず、子供たちが夢中になっている世界を共に共有することで、違った見え方ができるのではないのでしょうか。

わかば教室 カウンセラー

【 お知らせ 】

コロナ対策の一つとして2020年11月より、発熱があった時の相談窓口が設置されました。

☆「東京都発熱相談センター」 03—5320—4592 (24時間対応)